EVENT

令和元年 6月4日

コきらら博記念公園

魅力発見 やまぐち建設産業 口県等と共催しま フ ェア しを た



型のイベントです。 設産業のさまざまな魅力を紹介する体験 若者の県内建設産業への入職促進を図る 公園にて「やまぐち建設産業魅力発見 4度目の開催となった今回 ェア」を開催しました。このフェアは 土木建築を学ぶ高校生を対象に建

校2・3年生40

年生35名、

徳山商工高等学

3年生31名、

父が建設業の仕事をしていてんの生徒が楽しそうに体験す ピラー」の配布を実施しま DVDの上 を設置するとともに、 現場を3Dで見られるVR体験コー 設けられました。 が受けられる「建設企業交流エリア」 広場には、 、 ¼ 目。 Ars場の多目的ドーム・スポーツ高等学校2年生40名の6校合計216名名 P 〒 ア ー ア ー 本協会は、重機ラジコンの操縦や建設 自分も将来、 西市高校1・3年生60名、 技能体験エリア」に加え、 さまざまな作業体験ができる 映会、本協会作成の「広報誌 スで企業説明と質疑応答 重機を操縦できたら て憧れがあ ージアップ たくさ 今回 が

熱中する生徒も見られました。 と真剣な眼差しで重機ラジコンの操縦に た

建設現場をVRで体験

る。

山口 は 声が上がり、 た。 アには、どのブ

山口農業高等学校3年生10-40名、田布施農工高等学校 下関工科 格や残業、 聴くことにより、地場の建設業に魅力を 繋がれば嬉しいです」と話されていまし でいます。少しでも不安や疑問の解消に なく活躍できる職場であるよう取り組ん のが多くありました。弊社でも男女隔て 井聡美さんは「質疑応答では、 ます」と話されて 感じ、就職企業の選択に役立てばと思い 際に現場で働く生の声を人事担当者から ざまです。 ても多様な仕事があり、その魅力もさま 内勇綺さんは「建設業とひとくちに言っ 同じく出展した井森工業㈱総務部・藤 授業だけでは生徒のみなさん 女性の働き方など具体的なも いました。 いと思います

の未来を担う若者になってくれることをの皆さんが建設業への理解を深め、業界 このイベントを通して、参加した生徒

> 令和元年度に行われた その他の建設業PRイベント

> > 岩国支部

第62回岩国祭

「けんせつきかい体験コ

べていました。 験施工など最新技術の紹介を受けま と簡単そうだったのに、 業組合や畳技能士会など9団体計12の ーナーが設けられ、 技能・体験エリアでは他にも、 「職人さんがやっているのを見て 熟練した職人の実演に時には驚きの かんな体験、 ドローンを使ったICT建機の試 様々な職種の作業を体験するとと かんな削りを体験した生徒 生徒たちは鉄筋圧 った 実際やってみる と感想を述 足場体験 鉄筋工 いる

なく訪れ、 聞いていました。洋林建設㈱総務部・竹 30の企業が出展した建設企業交流エリ 人事担当者等の **ースも生徒たちが途切れ** 説明を熱心に

必要な資

ので、











EVENT

未来につなが 中学生ブリ ッジコンテ る橋を つく ス 、ろう 開

後援:山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会、周南市教育委員会、下松市教育委員会 のある実業高校への興味関心を高めても 中学生にものづくりの楽しさを体験し もらい、建設業や土木・建築系専攻科 令和元年8月23日・24日の2

令和元年

質量(経済性)、強度、プレゼンテー ジナルの橋の模型を製作 を開催しました。このコンテストは、 広場」にて「中学生ブリッジコンテスト」 日間、下松市の「ゆめタウン下松 も女子生徒が8名参加 ンの得点を総合的に競い合うというもの 参加者は、 8中学校から17名の生徒が参加。 8度目の開催となった今回は、 日目に「橋の構造」を学び、 された中学生がオリ Ļ し、デザ 過去最多とな 海の ショ 公 県

弓のように反ったア 基本の橋の模型を作った後、 された橋は、橋桁の上の部材を三角形に 用のオリジナル橋を製作。 た時間の中で橋を作り上げました。 バイスや補助を受けながら、 は「コンテスト 橋の チが特徴の「ア 。徳山商工生の後、コンテスト 限られ

主催:山口県立徳山商工高等学校(徳山商工)

(一社) 山口県建設業協会、(一社) 中国建設弘済会

部材で桁をつる「斜張橋」が なるよう接合した「トラス橋」が15作品、 特徴や工夫した点など作品をPRしまト」が行われ、参加者一人ひとりが橋 はじめに「プレゼンテ 上に斜めに張った ションコンテ

> 接戦の中、見事優勝に輝いたのは光市立 感に包まれ、音を立てて崩れ落ちる橋や 大きな拍手と歓声が湧き起こりました。 たわみもなくクリアする橋に、 の重さ!重りを載せるたびに会場は緊張 とすると5㎏の重りは自重の約1 スト」を実施。 「質量コンテスト」、続いて「強度コンテ た。その後、橋を計量して軽さを競う lkがら最大5 きまし 橋が50 gだ 観客から

バックアップに取り組んでて、未来を担うものづくり 本協会では今後ともこのイベントを通じ につながって への興味が膨らむブリッジコンテス 今回の経験が生徒のみなさんの将来 、を形にすることで、 いくことを願っています 八材の育成を ものづく



💬、ブリッジコンテスト COMMENT

サポートしてくれた なんとか作り上 げることができ

優勝した

光市立

今回参加したこ とでものづくりに

光井中 2年 岸村 遥帆さん

バルサ材をクロスに する部分が特に苦労 しましたが、丁寧に 進めていくことを心がけ てサポートしました。

> サポートした 。 徳山商工 環境システム科3年 中野 麟太郎くん

単に模型を作るという意識ではな く、その橋が実際に街の中にある イメージが描けているようでした。 将来この子たちが作る本物の橋を 渡ることができたら嬉しいですね。

大会会長 徳山商工 岩本 武久校長

女生徒の参加が多かったためか、 コンテストではデザインを重視した作 感があったのではと思います。

品が目立ちました。今年は司会進行 を高校生に務めてもらったことで、高 校生も自分たちで運営していく達成

実行委員長 徳山商工 松井 幸司先生

りました。

質量のバランスの取れた橋で高得点とな 光井中学校2年の岸村遥帆くん。

強度と